

# 漁海況月報

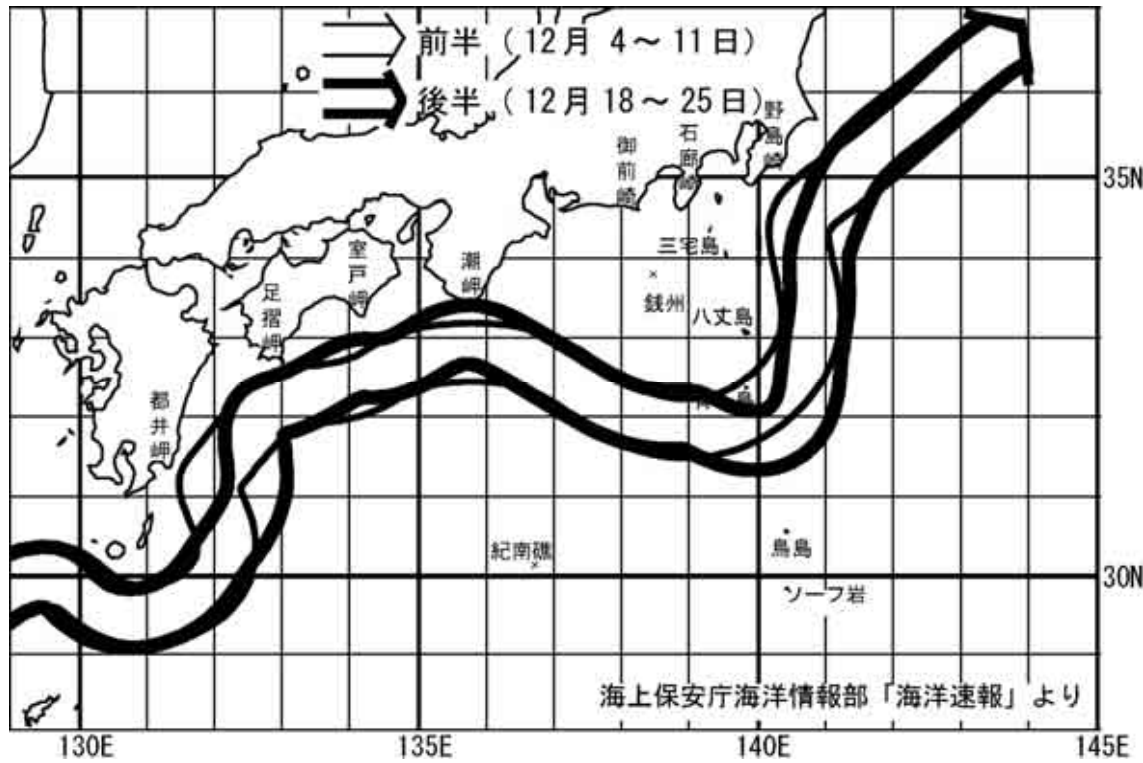
No. 12

平成25年12月1日

～12月31日

静岡県水産技術研究所  
(電話 054-627-1815)

静岡県水産術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値( ) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	16.8	17.3	17.2	17.0	15.9	16.0	14.3
	-0.6	-0.6	-0.2	-1.0	-1.8	-0.9	-1.5
中旬	15.0	16.2	16.1	14.9	14.7	14.6	13.9
	-1.6	-0.9	-0.3	-2.0	-1.9	-1.4	-0.7
下旬	16.1	17.1	17.4	15.0	14.5	16.0	10.5
	0.5	0.8	1.7	-1.0	-1.1	1.0	-3.2
月	16.0	16.9	16.8	15.6	15.0	15.4	12.8
	-0.5	-0.2	0.3	-1.3	-1.6	-0.5	-1.9

## 【黒潮流路】

前半の黒潮は、室戸岬、潮岬でやや離岸した後、遠州灘沖を南東に進み32°Nまで離岸した。その後、八丈島の南東を通過して房総半島に向けて北上し、房総半島沖へ流れた。後半は、都井岬沖で離岸傾向となり、潮岬では接岸した。遠州灘沖を東南に進み青ヶ島の南まで離岸した後、伊豆諸島の東側を北上して房総半島沖へ流れた。

## 【県下沿岸域】

上・中旬は、相模湾側では「平年並」～「低め」、駿河湾では「やや低め」～「低め」であった。下旬は、相模湾側では「平年並」～「高め」、駿河湾東部では「やや低め」、駿河湾西部では「やや高め」～「かなり低め」であった。

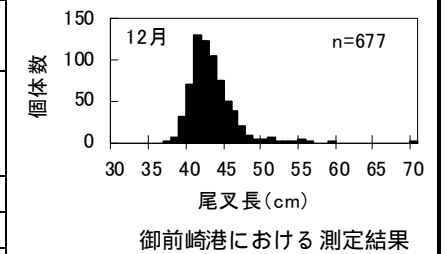
## 【竿釣カツオ】

12月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は2トンで、魚価は679円/kgであった。

静岡県沖では31°N、139°E付近で極小(尾叉長41cmモード)カツオを主体に漁獲した。

竿釣りカツオ水揚量(近海+沿岸船、県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	水揚/隻(トン)	平均単価(円/kg)
25年12月上旬	2	3	1.5	679
中旬	0	0	—	—
下旬	0	0	—	—
25年12月計	2	3	1.5	679
24年12月計	0	0	—	—
23年12月計	0	0	—	—



## 【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は299トンで前年の同漁場の水揚量(391トン)の0.8倍となった。また、1か統あたりの水揚量は42.8トンで前年(56トン)の0.8倍、平年(昭和57～平成24年の平均44.8トン)の1.0倍となった。

魚種別の漁獲量をみるとスルメイカ、さば類、マイワシの順に多かった。

スルメイカは大半が北川漁場に水揚げされ、さば類はゴマサバ主体であった。マイワシは主に富戸、赤沢漁場に、サンマは主に古網、北川漁場に、カタクチイワシは富戸漁場で殆どが水揚げされた。

漁場別の漁獲量では、北川漁場が94.3トン(スルメイカ、さば類、サンマなど)、富戸漁場が66.6トン(マイワシ、スルメイカ、カタクチイワシなど)、川奈漁場が58.4トン(スルメイカ、さば類、マイワシなど)の順に多かった。

<参考表> 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
スルメイカ	115.7	1.6	3.9	北川、川奈、富戸
さば類	53.8	0.2	0.7	川奈、北川、富戸
マイワシ	49.2	12.8	1.0	富戸、赤沢、川奈
サンマ	12.9	8.2	0.3	北川、古網、富戸
カタクチイワシ	11.5	3.1	0.4	富戸、北川、川奈

**[サバたもすくい棒受網]**

小川港には、棒受網によってゴマサバ511 トン（前年同月比195%）が水揚げされた。1 隻あたり水揚量は34.0 トン/隻（前年同月比117%）であった。平均単価は91 円/kg で前月（83 円）、前年同月（59 円）を上回った。

ゴマサバは28cm にモードを持つ1 歳魚、ついで22cm にモードを持つ0 歳魚主体であった。

棒受網の漁場は、ゴマサバ主体に、上旬、中旬には三本、三宅で操業した。また12 月18 日で今年度の操業を終えた。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
25年12月上旬	0	336	4	9	0	37.3	0	88	三本、三宅
中旬	0	174	2	6	0	29.1	0	97	
下旬	0	0	0	0	0	0	0	0	
25年12月計	0	511	6	15	0	34.0	0	91	
24年12月計	0	262	4	9	0	29.1	0	59	三本
23年12月計	0	605	7	16	0	37.8	134	48	利島、三本、三宅

\* 水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

**[サクラエビ船曳網]**

12 月の出漁日数は9 日で、漁獲量は312 トン、漁場は主に焼津～大井川沖に形成された。漁獲されたサクラエビは、体長31mm にモードを持つ当歳エビと38mm にモードを持つ1 歳エビで、当歳エビと1 歳エビの尾数比率は47%と53%であった。

平成25 年秋漁は12 月23 日が最終出漁日となり、出漁日数は16 日（前年秋漁は17 日）、漁獲量は440.6 トン（同389.6 トン）であった。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	1 日1 か統当り 平均漁獲量(kg)	漁 場
平成25年12月上旬	217	6	平均 602	焼津～大井川沖
中旬	81	2	平均 673	焼津～大井川沖
下旬	14	1	平均 237	焼津～大井川沖
平成25年12月計	312	9	平均 650	—
平成24年12月計	234	8	平均 489	三保～相良沖・戸田沖
平成23年12月計	194	7	平均 462	三保～安倍川沖・榛原沖

**[シラス船曳網]**

1 日1 か統当りの水揚量は、駿河湾が198kg、遠州灘が303kg であった。主要6 港平均の1 日1 か統当りの水揚量は260kg と前年（255kg）の102%、平年（過去5 年平均：175kg）の149%と前年を上回り、平年を大幅に上回った。総水揚量は260 トンで前年（233 トン）の111%、平年（142 トン）の183%と、前年を上回り、平年を大幅に上回った。平均単価は917 円/kg と前年（604 円/kg）の152%、平年（816 円/kg）の112%と前年を大幅に上回り、平年を上回った。

シラス水揚量（主要6 港）

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	9.3	7	54	172	725
舞 阪	72.4	8	222	326	635
福 田	69.3	9	218	318	684
御前崎	26.8	8	93	288	923
吉 田	42.1	11	253	166	1,096
静 岡	39.9	9	160	249	1,688
平成25年12月計	259.7	52	1,000	260	917
平成24年12月計	233.4	50	914	255	604
平成23年12月計	85.5	39	662	129	856

注) 各港の数値は四捨五入しているため、各港の値を合計した値と月計値は一致しない場合がある。

平年：過去5 年(2008～2012 年)平均

**[まき網]**

小川港におけるマイワシの水揚げは53.4 トンで平年（2.3 トン）の2,291%と大幅に上回った。沼津港ではマイワシの水揚げが66.9 トンで平年（4.9 トン）の1,371%と大幅に上回ったがカタクチイワシの水揚げはなかった（平年0.1 トン）。静浦港ではマイワシの水揚げは無く（平年の水揚げ実績なし）、カタクチイワシの水揚げもなかった（平年の水揚げ実績なし）。伊東港ではマイワシの水揚げは0.1 トンであった（平年170.2 トン）。

注) 平年：過去5 年(2008～2012 年)平均

**[調査船の動向]**

駿 河 丸

12月2日	～	12月4日	地先定点観測調査、さば類撒餌試験及び標識放流調査	(3日間)
12月5日		12月6日	地先定点観測調査及びタチウオ調査	(2日間)
12月9日	～	12月10日	シラス調査及びハダカイワシ(MOHT)調査	(2日間)
12月16日			公共用水域水質調査	(1日間)
12月17日	～	12月18日	サクラエビ調査	(2日間)
12月24日	～	12月25日	シラス調査及びハダカイワシ(MOHT)調査	(2日間)

**静岡県水産技術研究所のホームページ**

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

